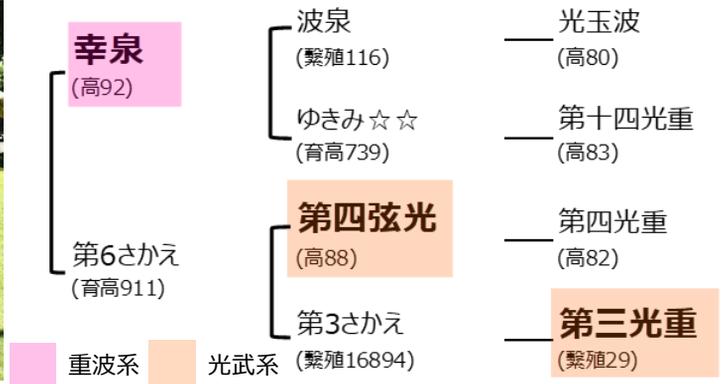


# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2025

## ゆきつるみつ 褐毛和種種雄牛「幸弦光」の選抜



### 問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

### 問 本牛の特徴は？

答 本牛は、当時、脂肪交雑の育種価が県内上位10%以内(当時)とトップクラスの母牛に、ロース芯面積と脂肪交雑に優れた「幸泉」を交配によりし作出了しました。現場後代検定では、ばらの厚さが去勢で8.5cm、全体平均で8.2cmといずれも歴代トップクラスの成績であり、「幸泉」の後継牛として肉量の面で改良への貢献が期待されます。

### 【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm<sup>2</sup>, cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 12 頭	25.2	524.5	57.8	8.5	3.2	73.1	4.17	91.7% (11/12)
雌 7 頭	25.4	477.9	53.7	7.8	3.1	72.9	3.86	57.1% (4/7)

### 【産子の枝肉(去勢)】



枝重 569.4kg  
 ロース 64cm<sup>2</sup>  
 ばら厚 9.4cm  
 BMSNo. 5  
 等級 A-4

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	0.33
ロース芯面積	小さい							大きい	0.04
ばらの厚さ	薄い							厚い	1.29
皮下脂肪の厚さ	厚い							薄い	0.42
脂肪交雑	少ない							多い	0.30

### 標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。